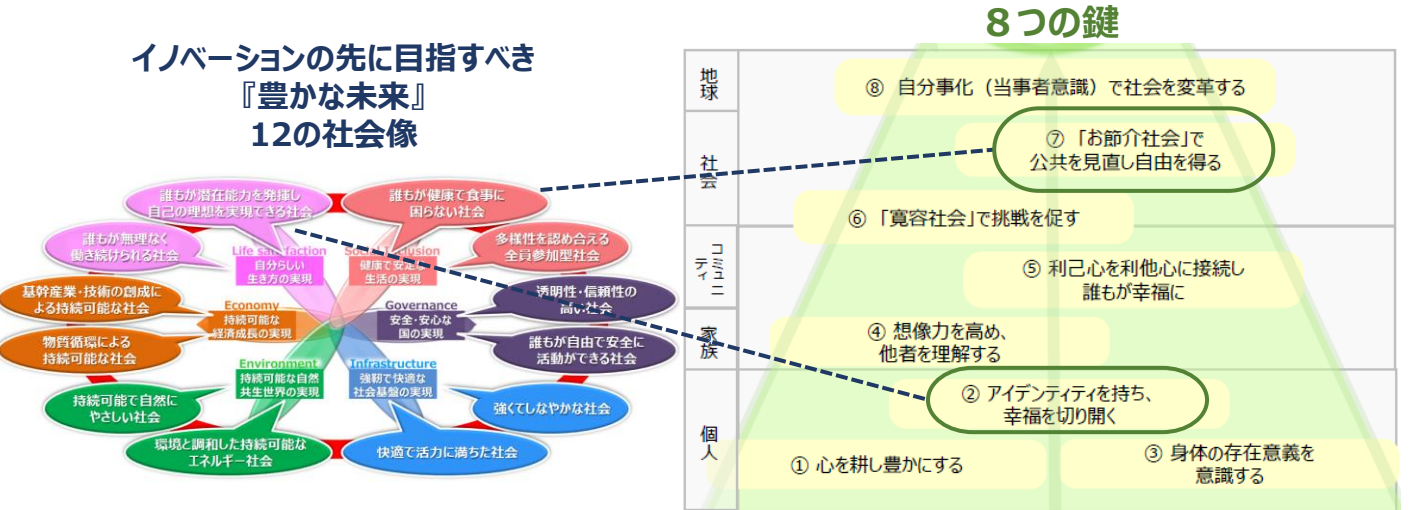


NEDOの「イノベーション創発ワークショップ」での「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」を活用した取り組み（結果報告）

（取り組みの経緯）

- ✓ 2021年度に、「未来社会デザインオープンプラットフォーム（CHANCE）」の賛同機関で、2050年の未来像を具体化し、課題を見いだす取り組みを行いました。その結果をレポート「つくりたい未来を実現するための8つの鍵」にまとめ公開しました。 <https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/items/8keys.pdf>
- ✓ 2022年度、いくつかの賛同機関において、このレポートの「8つの鍵」を活用した取り組みが行われています。
- ✓ 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）では、イノベーション創発ワークショップにて、テーマに関連する「8つの鍵」を意識し、議論を深めることができました。



（取り組みの概要）

■豊かな未来を実現するためのイノベーション創発ワークショップ（2022年12月14日実施）

2021年6月に、NEDOから公開された将来像レポート「イノベーションの先に目指すべき『豊かな未来』」を起点とし、その未来の実現手段を技術レベルまで構造化したツリー図を作成。ツリー図を俯瞰し、実現したい重要領域を構想するワークショップ。その構想がNEDOの技術戦略テーマのアイデアになることを目指しました。

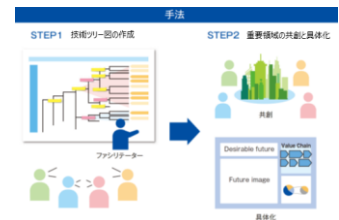
（具体的な内容） グループ討議参加者：NEDO 17名、経産省 1名、JST 2名、所用時間：4時間

ステップ①：実現したい社会像の共通理解（テーマ①「潜在能力の発揮と自己の理想の実現」／テーマ②「誰もが健康で食事に困らない社会」を起点とする社会像に設定）

ステップ②：社会像実現のための解決策ツリーの構築

ステップ③：重要領域の括りだしと相互ブラッシュアップ

ステップ④：シナリオ化



■CHANCEのアウトプット「8つの鍵」の活用について

創発WSの議論に入る前に、テーマ①「潜在能力・理想の自分の実現」には、自己規定・自己認識が重要という認識の中で、鍵概念②「アイデンティティを持ち、幸福を切り拓く」を提示。テーマ②「健康、食事、誰もが困らない」では、助け合う包摂的視点が重要との認識で、鍵概念⑦「お節介社会で公共を見直す」を提示しました。解決策ツリー図の構築を多面的な視点で行うことに貢献しました。

■創発WSでのアウトプット シナリオ

以下の項目で取りまとめました。

- ・目指す理想状況
- ・障害要因・課題とその解決策
- ・解決策に係る産業